

エパタ

第103号

そこで、イエスは、その人だけを群衆の中から連れ出し、その両耳に指を差し入れ、それからつばきをして、その人の舌にさわられた。そして、天を見上げ、深く嘆息して、その人に「エパタ。」すなわち、「開け。」と言われた。すると彼の耳が開き、舌のもつれもすぐに解け、はっきりと話せるようになった。(マルコ 7:33-35)

発行/日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
ろう者伝道部

〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20
TEL 03-3918-5935

発行者 井桁正巳

編集者 五島靖子

タイトルバック写真 山中和明

「完全に現れる主の力」

愛に満ちた素晴らしい主の御名を、心から賛美いたします。

コロナ禍が起こって1年半ほどになりますが、未だに収束には至らず、「Withコロナ」と言われる、コロナと共存する生き方が提案される今日となりました。

「コロナさえ無ければ」と考えてしまいましたが、主の許しがなければこの状況もなかったと考え、脱出の道を設けてくださっている主は、この事を通して宣教に向かう私達と共にいてくださり、「これが道だ。これに歩め。」と導いてくださっていると信じて行きたいと思えます。

この夏、オンラインによって昨年開催出来なかった《全国ろう者聖会》が行われました。私は、メッセージの奉仕をさせて頂き、この聖会に初めて参加させて頂き感謝しています。その聖会の中で、全国のろう者の皆さんが、心から賛美を捧げ、御言葉を愛し慕い求める姿に、感動していました。

私の母教会（現、西東京キリスト教会）には、ろう者の方々がおられ、親しい交わりを持たせていただいていたことを思い出し、感激で胸がいっぱいになっていました。

手話劇も非常に素晴らしく見応えがありました。また、手話の賛美は美しく、全身で神様を褒め称える姿は、主がどれほど喜んでおられるかと思えました。

ちょうど同じ頃、パラリンピックが日本で開



教団理事・伝道局長

澁谷友光

催されていたのですが、この大会の中でのハンディキャップを持つ方々の活躍に、日本中が勇気をもらい感激していました。そのパラリンピックを伝えるために、NHKでは聴覚障害者である方がコメントーターとして出演され、表現力豊かな解説に魅了されました。

私たち人間には、強いところもあれば弱いところも有ります。十分なところもあれば、足りない部分もあります。しかし、その弱さや足りないさを補うように、必ずと言っていいほど、他の部分が発達したり強化されるのです。素晴らしい主の恵みではないでしょうか。

「しかし主は、『わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は弱さのうちに完全に現れるからである。』と言われました。ですから私はキリストの力が私を覆うためにむしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。」

【コリント人への手紙 第二十二章九節】
このみ言葉は使徒パウロが、病と思われる「肉体の棘」を取り除かれることを求め、必死に祈った時の主からの答えでした。

私たちに注がれている恵みの豊かさは、主ご自身が保証されているのです。ですから、弱さや足りないさ、痛みや小ささも主に委ね明け渡し、捧げて行くことが大切なのです。この「完全に現れる」との言葉は、「最も効果的に働くことができる」とも受け取れる

言葉です。ハレルヤ!

私たちはこのような時代だからこそ、自分の信仰を用いて喜びを選び取り、“With Jesus”主と共に前進し、完全に現れる主の御業を期待して行こうではありませんか。

皆さんの上に、主の守りと信仰の祝福があることを、お祈りしています。

全国ろう者聖会

今年の全国ろう者聖会は、「Go Go One Team」(前進あるのみ)というテーマで八月十一日〜十二、オンラインで開催されました。登録者は一五四名、参加教会は二四でした。一日目は「聖会Ⅰ」と「ろう者聖書学校卒業式」、二日目は「交流会」と「聖会Ⅱ」が行われました。

聖会講師は、青森ジョイフルチャペル牧師の澁谷友光先生で、ご自分の体験を踏まえて熱く語ってくださいました。ろう者聖書学校卒業式では、二名の方が卒業されました。

「卒業にあたっての証」

小岩栄光キリスト教会

金井 扶美代



ハレルヤ。主の御名を賛美いたします。

最初の二年間は、全国各地の会場教会で集中講義に参加し、学びだけではなく交わりの時もあり有意義な時でした。最後の一年間は、コロナウイルス感染拡大のため、オンラインでの集中講義でしたが、最後まで内容が濃い学びで本当に神学校に行っていた良かったと感謝しています。

右目に猫アレルギーでまぶたが腫れてしまったり、歩道でつまずいて右顔の怪我と右手首を痛めた状態で、集中講義に参加することもありました。教会の兄弟たちの祈りとともに助けてくださったことを主にあって感謝しています。

神学校で学んだことは無駄ではなく、先輩との交わりもとても楽しい時間でした。卒業式はオンライン配信となりましたが、

皆様に祈られ支えられ無事に卒業することができ、感謝でした。

全国ろう者聖会のテーマ「Go Go One Team 前進あるのみ」、澁谷先生のメッセージを聞いて、伝道師になることへの不安や迷いがありましたが、神様の導きに従い、前進するのみと吹っ切れました。



主と共に前進し続けることを覚え、すべてを主にお委ねいたします。栄光在主。

「忘れられない

三年間の学び」

四万十キリスト教会

大森 たかみ



ろう者神学生としての三年間の学びは詩篇一三三篇一節の通り『見よ。兄弟がともに座っている。なんと恵み、

なんとという喜び。』そのものでした。

手話のできる講師陣が与えられ、また、五人の先輩神学生と共に机を並べての、学びの歳月は、希望に溢れていて、二度と得られない珠玉のような日々でした。

一人で考えているうちは「夢」二人で話せば「希望」三人で話せば「力」(仏・詩人ジャン・コクトー)

美矢師の講義《ろう者学》では、ろう者の歴史、ろう者の文化、ろうジョーク等々、広く深く学ぶことが出来ました。また、ろう者としてのアイデンティティに目覚めることが出来たのもこの講義からでした。また私と似たようなケースがある!?

私も「健聴者寄りの手話」表現が多かったために、講義中、たびたび改善を指摘されました。自分でも、聾学校時代を思い出して、変えなければ!と、奮起し続けています。

三年間、祈りと捧げ物をもって支えてくれた、周りの人々の真心に感謝し、内川師が繰り返して語られた『何よりもキリストに似るように』との教えを胸に秘めて、ろう伝道師として仕えたいと思います。

「全国聖会に参加して」

明石キリスト教会

酒井 和子

ハレルヤ！主の御名をほめたたえます。

今年の全国聖会は、去年に続いて新型コロナウイルスのため、高松での開催は中止されましたが、オンラインで開催され参加する事ができました。澁谷先生の熱いメッセージを見ることができて感謝します。

一サムエル三十章一節から六節のダビデの全てを奪われ、苦境の中に立たされたが、神を仰いで、立ち上がっていく勇ましさが見る事ができ、感動を覚えました。今生かされていく生活において、常に神を見上げていく姿勢を改めて示され、

前進していきたいと願います。

また、手話を通してエステル、ダビデとサウルの物語を楽しませて頂き、素晴らしい聖会に参加でき心から主に感謝致します。

「全国聖会に参加して」

門真キリスト教会

田中 津江子

ハレルヤ、栄光なる主の御名をほめたたえます。

コロナ禍にありますが、二年前ぶりに全国ろう者聖会がオンラインで行われ、多くの兄弟姉妹が参加でき、感謝します。

澁谷先生のメッセージを聞いて、素晴らしい御言葉の恵みから感謝します。交わり会での広島教会と徳島教会の劇は、笑いもあり、感動もあり、とても良かったです。クイズも楽しかったです。

二人の姉妹がろう者聖書学校を無事に卒業され感謝です。お二人が神様の御業によってよい働きができますように、続けてお祈りします。

今回、この聖会に参加できて

本当に嬉しかったです。来年こそ、全国ろう者聖会で皆様と会えることを楽しみにしています。

コロナ禍の礼拝

「門真キリスト教会の礼拝」

濱崎 恵太

門真キリスト教会では、二〇二〇年四月五日から礼拝の動画配信を開始しました。新型コロナウィルスの感染が全国的に拡大する中で、礼拝出席に不安がある兄弟姉妹のために急いで機材を準備し、始めたものでした。その後すぐに緊急事態宣言が出されたこともあり、一二日のイースター礼拝から数か月の間、オンラインを中心とした礼拝になりました。集まることができず、寂しい期間ではありましたが、準備も含めて主が全てを整えてくださったと感謝しています。

それから一年以上が経ち、配信する側も出席する側も慣れてきているのですが、それでも難

しいと感じるのは手話通訳です。動画配信になってしまうと、ろう者の兄弟姉妹の様子が分からないため、手探りの状態が続いています。そのような状況でも主はろう者の兄弟姉妹の信仰を支え続けてくださっています。難しい状況が続いていますが、

これから、主のしてくださることに期待し、進んでいきたくてお願いしています。



「阿南神召キリスト教会の礼拝」

林田 啓子

私たちの教会では日曜日と月曜日に礼拝があり、ろう者は月曜日に集まります。

ろう者の礼拝は十人前後です。幸いなことに、ろう者伝道師夫妻がいて、交替で恵まれる説教

を語ってくださいます。

古川忠志ろう伝道師は朝八時半に教会にきて、教会の車で、信徒たちを迎えに行きます。九時半に第一陣が到着、その後、また次のお迎えに行きます。第一陣のグループに盲ろう者の姉妹がいます。彼女は教会に着くと会堂の全部の椅子を手探りでアルコール消毒をします。椅子は一人分の距離を空けて並べています。終わると座って、手を上げて賛美し、主に感謝の祈りを捧げて静かに礼拝を待っています。信徒たちは玄関で体温をはかり、記録し、アルコール消毒をします。もちろん、マスクもしています。礼拝中は窓を開けています。冬は二十分毎ぐらゐに換気をしました。

講壇にはプラスチックの間仕切りを立てています。説教者は自分のマスクを外して、顔の表情が良く見えるように口と鼻を覆うプラスチックのマスクをします。透明の間仕切りは取り外して、手話が良く見えるように工夫しています。司会はろう者伝道師と男子の信徒が交替にし

ています。間仕切りの中でマスクをしたまま、賛美しています。このような中で、主は祝福し

てください。一月には盲ろう者のご主人が洗礼を受けました。現在一人の求道者が礼拝に加えられています。ハレルヤ！



★2022年トレーニングスクール★

- ・日程 2022年2月10日（木）～11日（金）
・講師 中原信恵師 ・会場 ビッグ・アイ

★ろう者聖書学校入学者募集中★

QRコードを読み取って動画をご覧ください。



★ろう部 ホームページで手話リレーメッセージを掲載中！



郡美矢師挨拶

手話は言語②

前川圭司

音を組み合わせた言葉が、聴者のコミュニケーションの手段であるように、手話は、ろう者のコミュニケーションの手段である言語です。ということは、手話にない言語はろう者には分かりません。だから、それをいかに手話にある言語に置き換えるかが重要です。

以前、アッセンブリー世界

ろう者大会が北欧のエストニアでありました。諸外国の教職や兄弟姉妹と互いに挨拶し、交わるのですが、その時、私は外国（国名は分からない）姉妹にハグされました。そういう文化に慣れていない日本人男性の私はどうしたらいいか分からず、さすがにそのままにしています。相手の姉妹はどう思ったでしょう。失礼であった事でしょう。



（わたし、かれ、これ、ここ、それ、あれ、どこなど）、たとえば「彼らが顔を上げて見ると、イエスのほかにほだれもいなかった」（マタイ十七・八）の「彼ら」が、誰の事を言っているのが、分からなければなりません。それらを手話通訳者が理解した上で、通訳しないと、ろう者に伝わらないこともあるのです。手話でのコミュニケーションは難しく、やればやるほど、奥の深さを感じます。

さて、日本語をろう者に伝える手段が手話です。つまり、ろう者の間で使うのが「日本手話」であり、聴者が使う手話が「日本語手話」です。ろう者は、聴者とのコミュニケーションに使う手話と、

ろう者間で使で使う手話とは使い分けているようです。そして、ろう者にも、一人ひとり個性があり、癖があつて十人十色です。手話通訳をする場合「読み取り」が難しいことがよくあります。手話は基本的に肩幅と胸の前の枠の中で表すのですが、手話には助詞（て、に、を、は）がないので、その位置関係が大切です。さらに、代名詞

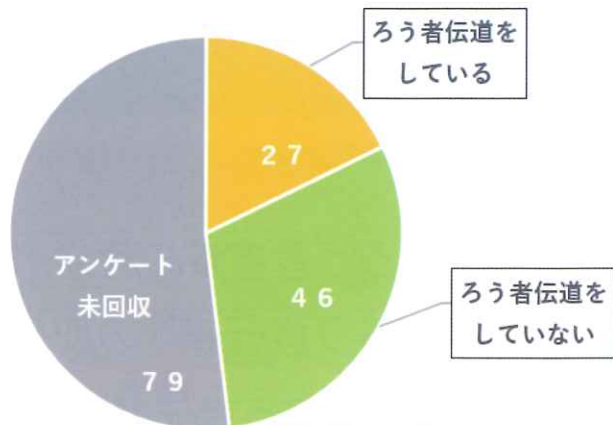
（わたし、かれ、これ、ここ、それ、あれ、どこなど）、たとえば「彼らが顔を上げて見ると、イエスのほかにほだれもいなかった」（マタイ十七・八）の「彼ら」が、誰の事を言っているのが、分からなければなりません。それらを手話通訳者が理解した上で、通訳しないと、ろう者に伝わらないこともあるのです。手話でのコミュニケーションは難しく、やればやるほど、奥の深さを感じます。「彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であつた。」（使徒二四十二）

ろう者伝道実態調査 アンケート結果

八月〜十月、ろう者伝道実態調査のアンケートをメールで各教会に依頼し、その結果を以下にまとめました。

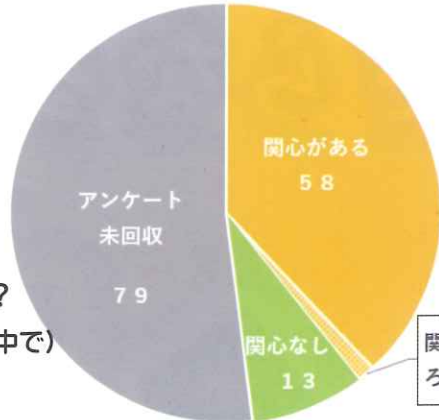
アンケート発送教会
アンケート回答教会
73152

○ろう者伝道をしていますか？



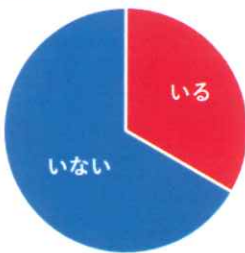
・教会用語の手話が知りたい
・地域の講座を勤めている 等

○ろう者伝道に関心がありますか？

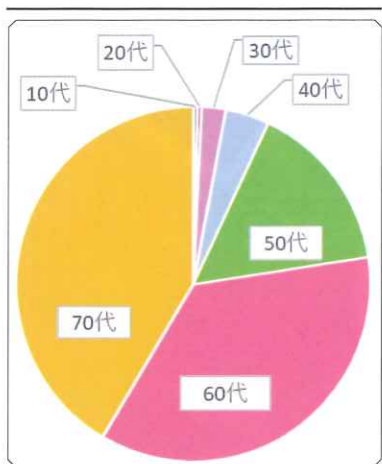
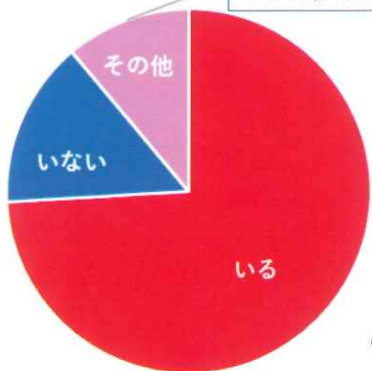


関心はあるがろう者がいない等 2

○手話通訳者はいますか？
(ろう者伝道をしている教会の中で)

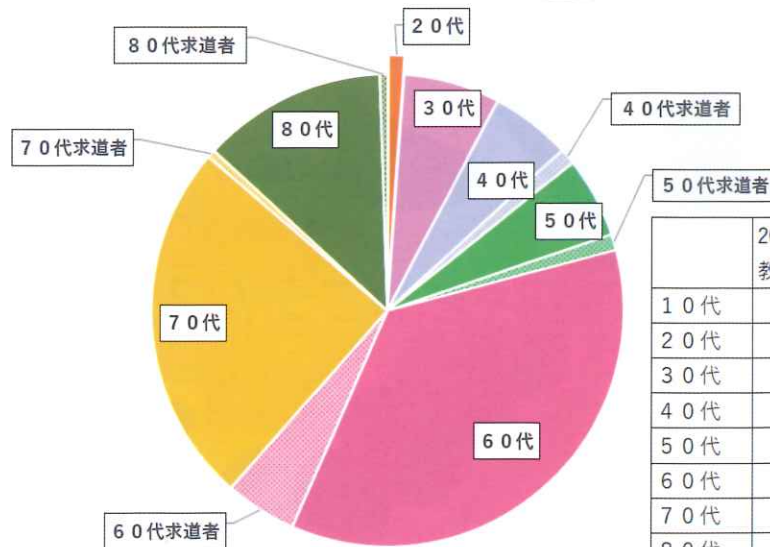


○通訳者養成の必要を感じていますか？



2019年2月 調査

○ろう者の年齢構成は？



2021年10月 調査

	2021年 教会員数	2021年 求道者数
10代	0	0
20代	2	0
30代	12	0
40代	10	2
50代	10	2
60代	65	9
70代	45	1
80代	23	1
計	167	15

○ろう者礼拝で工夫していることは？

ほとんどの教会で、ホワイトボード・パワーポイントを使用、または、手話訳聖書を利用しているとの回答でした。中には、パワーポイントデータを印刷して使用、説教内容が文字起こししてある週報を使用、「パワーポイントで要点をまとめ、YouTubeで手話付きメッセージを配信、祈禱会メッセージでは教会LINEで原稿も配信」という回答もありました。

○今後の課題としては、次世代ろう者への伝道、通訳者養成、聴者との交流などが挙げられていました。

また、教区・教団への要望として、手話講習会の複数回開催、ろう者講師の登用、ホームページのメッセージの手話通訳、等が挙げられていました。更に多くのろう者の方が救われるために、ろう者伝道部としては、祈りつつ、ご要望の検討を進めてまいります。アンケートへの御協力ありがとうございました。

御霊による ろう者宣教、 さらなる拡大

ろう者宣教の活発化
青年ろう者伝道への取り組み
各教区のろう者伝道を推進する



2人で1人を導こう！2人ならできる！

2024年 400名のろう者会員を目指して
全教区へ・32 教会→50 教会へ・265 名→400 名へ

全国ろう者聖会の継続的实施 世界のろう者 AG に学ぶ
ろう者劇団・部員の継続的派遣 手話通訳者養成
ろう者伝道連絡委員会の継続的实施 ろう者キャンプ
各教区及び青少年伝道部との協力